

NPO法人コンカリーニョ 2017 年度事業報告

1. 事業の成果

次の10年の具体的な活動計画の立案まではできなかったものの、各セクションともに、それぞれで立案した年度計画、目標に向かい、協力し合って、目標達成に尽力した。職員を中心とした安定したスタッフ力を獲得できたことは、評価に値する。ここ数年、課題としていた減少してしまった会員数、停滞気味のカリットの活動に関しては、ひとまず、現在のスタッフ数では解決できないと判断し、現状維持ラインとなった。

<2017 年度トピック>

- ・劇場コンカリーニョの設備更新（照明ユニットの更新、冷房機の増設）を行った。
- ・札幌演劇シーズンの中核劇場として、夏冬ともに1シーズン3本ずつの演目を上演
- ・経営のスリム化による各セクションの収益率アップ
- ・コンカリーニョ祭りのリニューアルの成功
- ・琴似青年部復活

【2016 年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

札幌市さぼーとほっと基金、地域商店等 18 件

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 施設運営事業 事業費 41,471 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

今年度より新体制となり、目標とした有料稼働率（劇場収入）を上げるために、いくつかのプランを新しく試し、手ごたえも得、目標には届かなかったものの、人件費を含め、無駄を省き、経費の削減ができ、収益率は大きく改善された。また、申込書の一新や利用者情報の管理、登録の仕方の見直し等を行い、管理・共有のしやすい基盤作りを行った。

		前年度比
利用率	62.0%	1.2%増
プログラム数	64 本	5 本減
総利用者数	22,816 人	9.6%減
事業費	14,143 千円	9.2%減

下四半期は、パトスとの一体運営に着手し、「パトスからコンカリーニョへ」ステップアップを促すことにより、興味を持ってくれる団体も少なからず存在するという発見があった。

[行ったこと]

- ・劇団や専門学校へのあいさつ回り 上半期、下半期は時間的制約から積極的にできず。
- ・いながら営業の強化
- ・「Ticket Concarino」（劇場通信）の発行
- ・コンカリーニョ美化活動→整理整頓が進み、特にトイレがきれいに保てるようになった。
- ・コンカリアシスト（ラインを活用した若年層ボランティア）の活動→始動したが、活発化が望まれる。
- ・劇場の売り込みプランの作成→利用率が低下している月の定期的告知

B) ターミナルプラザことにパトス

ホールは目標稼働に少々届かなかったものの、利用料値上げ後も大きく稼働が落ち込むことはなく、料金設定のお得さから連日利用の増加が見られた。また、入札制になってから逃していた「西区文化フェスタ」の運営を受託することができた。

ホール稼働率	59.6%	1.6%増
プログラム数	121本	3本減
総利用者数	20,198名	12.0%減
事業費	8,234千円	20.7%増

長らくパトス専任となっていた職員の退職に伴い、パトスブッキングライブは5月、パトスカフェコンサートは6月をもって最終回とし、多くの出演参加希望により、どちらも拡大版にて開催した。

C) あけぼのアート&コミュニティセンター

第3期管理運営期間の初年度

長期貸室は、管理運営期間の切り替えで12団体が入居し、2つの空き室利用も安定的に確保された。

貸室全体の稼働率はほぼ横ばい状態。中ホール、音楽室は、入居団体による定期利用が増加し、いずれも60%を超え、多ジャンルの利用で活性化した。交流室は、レイアウト工夫や夜間の入居者開放等、稼働回復に向け、活性化策実施に着手をした。体育館は、近隣住民を配慮した開館時間の短縮、利用料の改定を反映し、前年度より更に減少したが、「地域開放タイム」で子供たち、家族連れ、グループ等の利用もあり、今後の発展の可能性も伺えた。

「地域とアートの連携事業」は、入居団体による協力が進展、「あけぼの学校祭」では地域の親子連れの来館など700名を超える盛況だった。また「アイロンビーズ講習」は、放課後に訪れる子供たちの人気を得た。今後も子供の居場所作りへの取り組みとして、企画内容を工夫し更に活性化を図りたい。

		前年度比
利用率(長期)	95.2%	15.3%増
(一般貸室)	53.0%	増減なし
総利用者数	49,697人	2.8%減
事業費	19,094千円	10.5%増

主な事業		
7月1日～2日	あけぼの学校祭	748名
7月30日	サマーフェスティバル	1,500名参加
8月27日	タイムトラベル 小学校	22名
12月24日	あけぼのdeクリスマス会	27名
みんなで遊ぼう！ アイロンビーズ	7月18日	10名
	9月10日	6名
	9月30日	6名
	10月15日	5名
	10月22日	8名
	11月11日	7名
	11月19日	5名
	12月9日	4名
	1月27日	6名
6月24日	あけぼの音楽祭	81名
通年	○あけぼのファーム活動 2団体、6個人登録 ○図書ボランティア 9名登録、総利用登録 258名 蔵書 4,051冊、年間貸出書籍数 804冊、総利用者数 846名	

○入居者会議 奇数月第2火曜日と第2水曜日 交互に(6回) 臨時入居者会議(1回)

○地域連絡会 2回(10月19日、4月26日)

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧4回(8月、11月、2月、5月)

II. 企画事業

事業費 6,724 千円、総来場者数 13,602 名

7月14日・15日	二人芝居フェスティバル「ペア・プレイ・パレード」	4st 136名
7月16日	コンカリ時代劇夏まつり	300名
7月22日～29日	札幌演劇シーズン 2017 夏 y h s 「忘れたいのに、思い出せない」	8st 823名
8月5日～12日	札幌演劇シーズン 2017 夏 もえぎ色「Princess Fighter」	11st 1,380名
8月16日～23日	札幌演劇シーズン 2017 夏 intro「わたし-THE CASSETTE TAPE GIRLS DIARY-」	8st 960名
9月8日～10日	SHIMIZU Bureau「Water Flow2017」(共催)	5st 441名
9月9日	住民劇ミニ2本立て興行@パトス 演出：斎藤ちず キッズ「ウナーミネーター」作：南参 マダム「出番が来るまで。」作：町田誠也	2st 166名
9月22日～24日	劇団 fireworks「沙羅双樹の花の色」(共催)	5st 441名
9月30日	コンカリダンスカンパニー キックオフ試演会&座談会	1st 43名
11月7日・8日	岩下徹×杉吉貢 即興コラボレーション「自由交感」& WS	1st 89名
11月11日～13日	遊戯祭 16 最優秀賞受賞記念 マイペース「ばかもののすべて」	5st 400名
11月17日～19日	ニッポンの河川(東京)「大地をつかむ両足と物語」(セレクション)	4st 276名
11月22日・23日	TGR 招聘 劇団竹竹(韓国)「マクベス」@パトス	2st 94名
12月14日～16日	劇団 MAM「髪結い橋ロビン・グッドフェロー」(セレクション)	6st 715名
12月21日～24日	プロデュース演劇 大人 vs. 中高生「鱈がどーん！」 作：畑澤聖悟 演出：納谷真大、イトウワカナ	8st 922名
1月6日	新年もちつき大会	52名
1月20日～28日	札幌演劇シーズン 2018 冬 イレブンナイン「サクラダファミリー」	13st 2,102名
2月3日～10日	札幌演劇シーズン 2018 冬 円山ドジャース「誰そ彼」	10st 1,306名
2月18日～25日	札幌演劇シーズン 2018 冬 プロデュース「ちゃっかり八兵衛」	10st 981名
3月10日・11日	第11回温故知新音楽劇「札幌開拓ワンダーランド」 作：渡辺たけし、演出：斎藤ちず	4st 475名
4月6日～8日	第12回生活大骨董市	3日間 500名
5月4日～6日	北海道短編エンゲキ祭～明日、あの子が会いに来る～(共催)	6st 466名
6月23日・24日	INDEPENDENT: SPR18	6st 191名
6月28日～30日	遊戯祭 17 最優秀賞受賞記念 ボイトワークス「ずぶ濡れジャングル～秘密のサイ島～」	5st 343名

主催事業 9 本、参画実行委員会主催 6 本、提携共催 9 本

III. 出前派遣事業

事業費 3,634 千円

- 技術制作派遣 北海道文化財団舞台芸術情報フェア制作
- 講師派遣 コミュニケーション教育事業(篠路中)
- コーディネート事業 チカチカ☆パフォーマンススポット
- 琴似青年部ファシリテーター

IV. 共通事業【①⑬】

○隔月会員郵送(150部*6回)

○メールニュース、メルマガ発行(月1~2回 400名*15回)

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第2月曜日19:00~ 4回

スタッフMTG 月1回 11回

各セクションMTG 月1~2回随時

企画会議：適宜 3回

カリットミーティング：隔月開催 5回

(2)その他の事業 該当なし